

# 吉村美栄子知事3選出馬表明



2016年9月25日  
-20号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 県議会の9月定例会開会

9月14日、県議会9月定例会が開会し、26議案が提案され、吉村美栄子知事が提案説明を行いました。

一般会計の9月補正予算額は71億1500万円となっており、国庫負担の内示に伴う公共事業などの追加41億8100万円、地域医療介護総合確保基金積立金20億6700万円が大部

分を占めています。その他、新規にがん・メタボ

4100万円が計上されている。他、温泉熱を活用したエリア供給システム構築支援(湯野浜温泉)、活断層付近にある山形盲

学校寄宿舎機能の移転改修工事費、医師・看護職員確保のため申込者増加を踏まえた就学資金貸付枠の拡大などの費用が計上されています。



9/6 なんでも相談会実行委員会県要請に参加

予算案件以外では、指定管理者の指定や教育委員、土地利用審査会委員の人事案件などがあります。提案の中で吉村知事は来年度の県政運営の基本的考え方について触れました。来年初めには知事選が行われる予定で、吉村知事は20日の代表質問に答える形で知事選出馬を表明しました。日本共産党県議団は、今議会は

山形県内には、3000人近い避難者の方がいます。が、多くは福島県からの避難者です。指定された地域以外からの避難者については、来年3月で住宅支援が切れることから、支援の継続、延長を求める声が寄せられています。国へ要望する

## 避難者の住宅支援継続を！

9月6日、避難者のためのなんでも相談会実行委員会(外塚功実行委員長)が「原発事故、東日本大震災の避難者への住宅支援の継続などを求める要望」を提出し、私も同席しました。

一般質問や予算特別委員会での質問機会はありませんが、それぞれの所属委員会でみなさんの声を代弁していきます。



9/15 福島県議団 避難者対応調査で「おいで」を訪問

日本共産党福島県議団が「避難者の状況を調査」9月15日には、福島県議団5人が調査に訪れました。米沢市の避難者支援センター「おいで」での聞き取りの後、山形県庁を訪れ、県の受け入れ対応や課題について調査し、私も同席しました。

その中で感じたのは、大震災、原発事故から5年半が過ぎて今なお、それぞれの場で深刻な悩みを抱えながら生活している方が多く存在し、心のケアを含め



### ゆり子の視点

#### 収穫を喜べる秋に

実りの秋、稲刈りや果実の収穫で楽しみな季節です。日本の食料自給率は40%

もかかわらず安倍政明らかにTPP反対を表明したことを求める請願が提出の輸入を進め、食の安全を脅かす危険が指摘されているTPP協定の国会批准を党の公約違反に對す怒りは続いています。黒塗りの資料や与えり秋を心から祝う。安全を脅かす危険が指摘されているTPP協定の国会批准を党の公約違反に對す怒りは続いています。黒塗りの資料や与えり秋を心から祝う。

未満のままであるに統一候補の勝利は、議会にも「TPP協定を批准しないこと」を求める請願が提出されています。安全を脅かす危険が指摘されているTPP協定の国会批准を党の公約違反に對す怒りは続いています。黒塗りの資料や与えり秋を心から祝う。



県労連定期大会に参加してきました

## 野党共闘に期待

9日には、県年金者組合の大会、10日には県労連の大会に参画して参加しました。話題になっていたのは、やはり参院選の野党統一候補の勝利。喜びとともに今後も労働組合として市民と野党の共同を大いに広げて、安倍政権の暴走政治を打ち破ろうというエネルギーが感じられた大会でした。同時に、日本共産党の一員として期待に応えられるような取り組みを展開しなければと強く思いました。